

## アップデートのご案内

いわゆる反社チェックレポート(コンプライアンス・リスク・レポート)の様式変更について

## 1 表題の報告様式を変更する趣旨

本報告を活用されていた皆様からいただいた下記のご要望に応えるため。

- ① グレーゾーンへの対応をより適正化していきたい。  
例えば、グレーゾーンである旨の明解な回答が欲しい。また、その理由、着眼点を社内関係者で共有したい。
- ② リスクの程度、取引の適否に関する弊社のオピニオン(見解)を知りたい。  
弊社のオピニオンの求めに対しては、これまで電話等で個別に対応していました。
- ③ 暴力団、反社会的勢力関係以外に取引にかかるリスクを把握したい。  
例えば、地面師の問題ほか、詐欺的な取引、悪質なクレーム、未払いなどのリスクを指摘して欲しい。

## 2 様式の変更箇所等

- ① 主としてグレーゾーンの対応の適正化に向けた記載欄の変更  
結論にかかる理由・根拠の記載欄において、必要に応じグレーゾーンに言及することとしました。  
また、グレーゾーンに言及する場合は、それを認めた理由(弊社の着眼点)も明記することとしました。  
一方、これまでの風評調査、登記簿調査、居住地調査等の調査項目欄を削除しました。しかし、この種の調査はこれまでどおり必要に応じ実施します。
- ② 主としてリスクの程度、取引の適否に関する弊社のオピニオンを明確にするための変更  
所見欄を設けました。所見では、以下のリスクまたはその根拠を必要に応じ記載することとしました。  
ア 暴力団排除条例違反を指摘されるリスクの有無・程度  
イ 取引を判断した理由について社外から説明を求められるリスクの有無・程度  
例えば、報道関係者、調査・捜査を実行する公的機関が関心を寄せる点の有無・程度  
また、上記リスクを回避・軽減するための取組み等について言及することとしました。
- ③ 主として暴力団、反社会的勢力関係以外に取引にかかるリスクを明確(把握)するための変更  
結論の「③ 上記①、②以外に取引に当たり注意を要する点等の有無」が「有」の場合は、必要に応じ下記をその根拠と共に明記することとしました。  
ア 当該取引先について特別なトラブルが生じるおそれがある点の有無  
イ 上記以外に弊社が指摘できる違和感

## 3 その他

- ① 上記の料金は、想定される件数またはコンサルティングのテーマ、サービス(オプションを含む)により異なります。
- ② グレーゾーン対策にかかるご担当者向けまたは社内階層別の研修・トレーニングは適宜承っています。
- ③ 本案内についてのご質問・お問合せは、担当のコンサルタントまたはinfo-53@bestbrain53.comにお願いします。